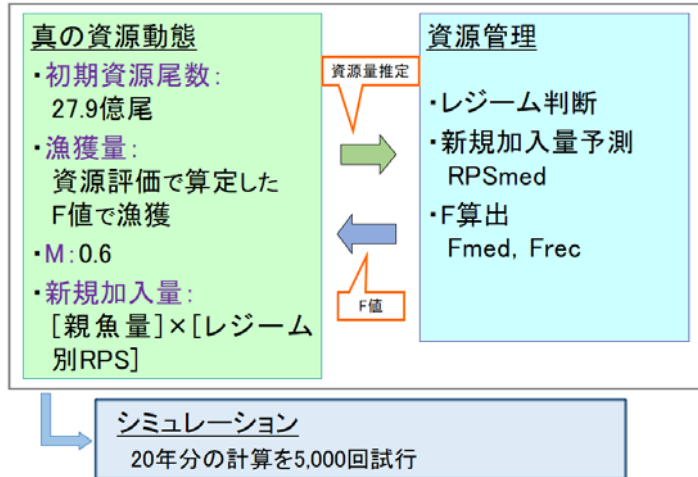


モデルの構造

モデルの設定 | 5つのシナリオ



シナリオ	加入量補正方法	資源評価方法	Blimit設定	レジーム変化から特異・管理転換までのタイムラグ
1 (従来のまま)	真の資源動態上 (RPSのサンプリング)	資源評価上 (RPSmedの決定方法)	1980年以降のSb値	-
2	レジーム別のSSB-RPS関係 (不現実性を考慮してサンプリング)	レジーム別のRPSmed	レジーム別のSb値	無し
3		レジーム別のRPSmed	レジーム別のSb値	1年
4		レジーム別のRPSmed	レジーム別のSb値	2年
5		レジーム別のRPSmed	レジーム別のSb値	3年

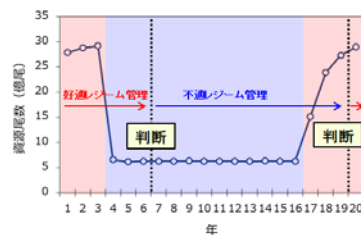
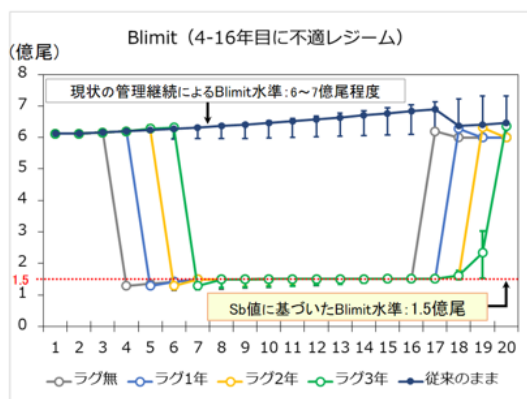


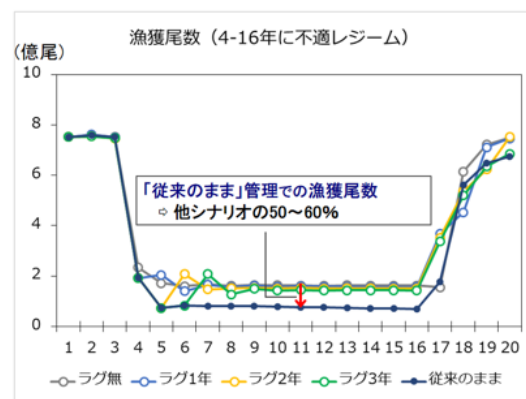
図1: MSEモデルの構造(真の資源動態と資源管理のシミュレーション部分に分かれる)

図2: MSEモデルの設定(5通り)

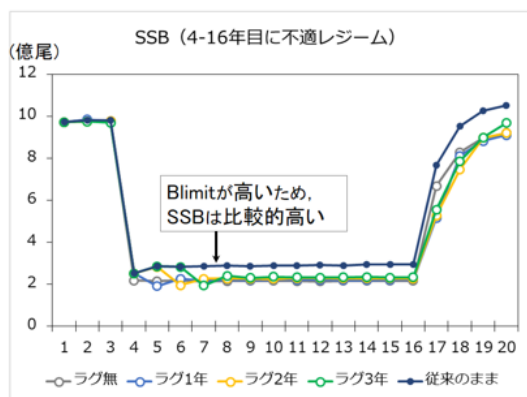
シミュレーション結果 | Blimit



シミュレーション結果 | 漁獲量



シミュレーション結果 | SSB(親魚量)



シミュレーション結果 | Blossを下回った割合

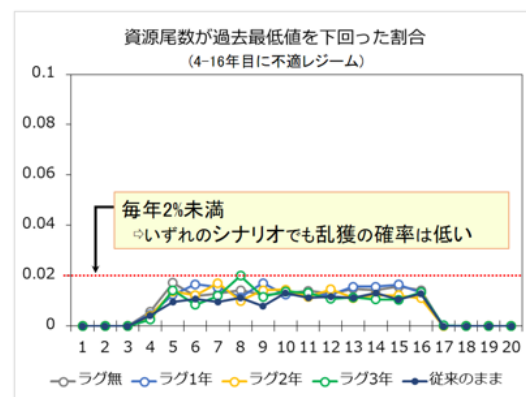
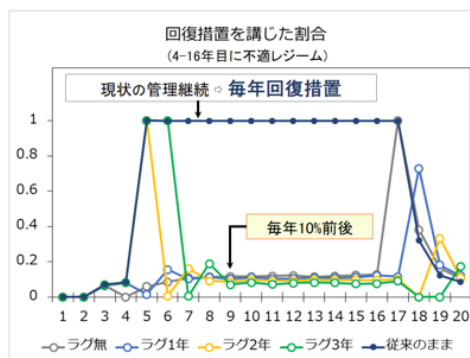


図3a(左上): Blimitの推移、図3b(右上): 漁獲量の推移

図3c(左下): 親魚量の推移、図3d: 過去最低親魚尾数を下回った割合の推移

シミュレーション結果 | 回復措置を講じた割合(SSB < Blimit)



シミュレーション結果 | Blimitに対し回復措置を講じた割合

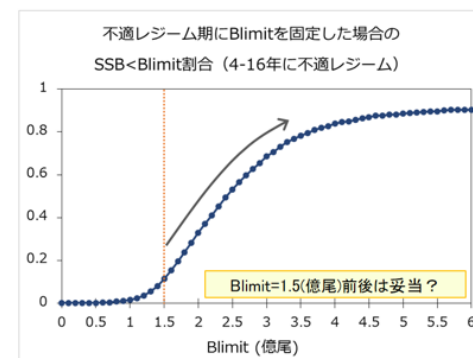


図4a(左): 回復措置を講じた割合の推移

図4b(右): Blimitに対し回復措置を講じた割合の変化